

ひらつか市民活動センター運営業務委託中間報告書

1 実施業務

ひらつか市民活動センターの設置及び管理等に関する条例及び施行規則に基づき、ひらつか市民活動センター（以下、「センター」という。）の管理等に関する業務全般を行った。

主な実施業務は次のとおり。

（1）市民活動推進のための施設及び設備を利用に供すること。

ア センターを利用するものの利用承認に関する業務

【新規登録件数】

| | |
|--------|-------|
| 市民活動団体 | 11 団体 |
| 一般団体 | 4 団体 |

イ センターの会議室、特定設備及びレターケース等の利用承認に関する業務

【会議室等利用状況】

| 項目 | 区分 | 令和7(2025)7年度 | | | | 令和6(2024)年度 | | | | 前年度 差 | 増減率 |
|----------|-----|--------------|-------|-------|--------|-------------|-------|-------|--------|----------|--------|
| | | 午前 | 午後 | 夜間 | 全体 | 午前 | 午後 | 夜間 | 全体 | | |
| 団体数 | 会議室 | 452 | 450 | 336 | 1,238 | 426 | 429 | 290 | 1,145 | +93 | 108.1% |
| | MTG | 361 | 447 | 99 | 907 | 334 | 408 | 131 | 873 | +34 | 103.9% |
| | 情報 | 36 | 20 | 7 | 63 | 26 | 28 | 6 | 60 | +3 | 105.0% |
| | 作業 | 70 | 39 | 9 | 118 | 76 | 51 | 4 | 131 | ▲ 13 | 90.1% |
| | 合計 | 919 | 956 | 451 | 2,326 | 862 | 916 | 431 | 2,209 | +117 | 105.3% |
| 利用 人数 | 会議室 | 4,706 | 5,460 | 3,262 | 13,428 | 4,539 | 4,839 | 2,686 | 12,064 | 1,365 | 111.3% |
| | MTG | 1,375 | 1,709 | 272 | 3,356 | 1,350 | 1,616 | 379 | 3,345 | +11 | 100.3% |
| | 情報 | 45 | 26 | 8 | 79 | 36 | 35 | 6 | 77 | +2 | 102.6% |
| | 作業 | 178 | 74 | 16 | 268 | 175 | 93 | 11 | 279 | ▲ 11 | 96.1% |
| | キッズ | 7 | 13 | 0 | 20 | 15 | 18 | 0 | 33 | ▲ 13 | 60.6% |
| | 合計 | 6,311 | 7,282 | 3,558 | 17,151 | 6,115 | 6,601 | 3,082 | 15,798 | 1,354 | 108.6% |

施設の活用状況は会議室・ミーティングスペースを中心に、前年度と比べて大幅な増加傾向にある。

公共集会スペースの閉館に備えた動きも一部影響していると推察される。

令和7年度上期の館内施設トータルでの利用団体数は2,326件で前年度2,209件より+5.3%増となった。

なかでも市民活動団体の利用件数は1,846件と前年度1,691件より+9.1%の大幅増となった。

利用人数については後述の通り会議室を中心に増加し、前年度比+8.6%増の17,151名となった。

○会議室の利用団体数は前年度比+8.1%、利用者数は+11.3%と著しい伸びとなった。

○ミーティングスペースの利用団体数は+3.9%の増加となったが利用者数は0.3%にとどまった。

これは、会議室とは異なり、個人など少人数利用者が増加傾向にあるためと思われる。

○作業スペースの利用回数減と、情報スペースの利用回数増は令和5年度より2年連続の傾向であり、印刷物等、情報の電子化の影響も一因と思われる。

【会議室の稼働率】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 上期 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 令和7年度 | 78.5% | 78.1% | 78.1% | 82.4% | 72.4% | 79.3% | 78.0% |
| 令和6年度 | 79.3% | 69.5% | 78.5% | 81.5% | 53.4% | 72.2% | 72.0% |

会議室の利用件数の大幅増にもあらわれた通り、令和7年度上期の会議室稼働率は78.0%であり前年度の72%を大きく上回る高い水準となった。特に例年、GW、お盆の影響で稼働率が落ちる5月、8月においても落込みは少なく、双方とも70%を超える稼働率となった。

また、終日全会議室（9コマ）満室となった日数も今年度上期は37日となっており前年度の21日を大幅に上回っている。

【特定設備利用件数】

| | |
|----------|---------|
| ロッカー小・小別 | 40個／40個 |
| ロッカーラ大 | 18個／18個 |

【レターケース利用件数】

| | |
|--------|---------|
| レターケース | 74個／81個 |
|--------|---------|

ウ センターを利用するものが、センターに設置する印刷機、複写機及びプリンターを使用した場合の使用料、並びに、たすけ愛文庫等の寄附金の収納（徴収）業務

【実施実績】 每月提出済み

【収納額】

| | 印刷機 | 複写機（コピー機） | プリンター | たすけ愛文庫等の寄附金 |
|----|---------|-----------|--------|-------------|
| 4月 | 18,610円 | 14,820円 | 960円 | 18,406円 |
| 5月 | 20,890円 | 14,290円 | 6,640円 | 9,440円 |
| 6月 | 12,520円 | 11,400円 | 1,680円 | 8,110円 |
| 7月 | 5,520円 | 5,060円 | 170円 | 4,900円 |
| 8月 | 5,740円 | 7,730円 | 440円 | 6,550円 |
| 9月 | 6,580円 | 8,000円 | 210円 | 9,557円 |

（2）市民活動に関する情報を収集し、及び提供すること。

ア Webサイト・メールマガジン・SNS等による情報発信

【Webサイト】①トピックス（センターの開館及び会議室の利用状況に関する情報、市民向け講座等の情報、平塚市情報等の掲載）

- ②イベント情報（市民活動団体イベント情報）
- ③助成金情報（適宜更新）
- ④ボランティア情報（適宜更新）
- ⑤イベント開催レポート（センター主催事業の報告等）
- ⑥ひらつかの風（発行に合わせて更新）

【活動センターWeb サイト 2025 年 9 月末までアクセス状況】

- ▼計測期間：R7 年度 2025/4/1～2025/9/30 (183 日)
- ▼比較期間：前年同時期 2024/4/1～2024/9/30 (183 日)
- ▼ページビュー数（期間中に閲覧されたページの数）
 - 本期：76,480 回 1 日あたり：417.9 ページ (GA 計測)
 - 前期：17,959 回 1 日あたり：98.1 ページ (UA・GA 計測)
- ▼ユーザー数（期間中にサイトに訪れた人数）
 - 本期：22,464 人 1 日あたり 122.7 人
 - 前期：13,044 人 1 日あたり：71.2 人

【メールマガジン】毎月 10 日発行（4 月～9 月まで 6 回発行）(250 号/9 月発行)

登録数：401 名

【SNS 等による】別紙「ソーシャルメディア利用申請書」のとおり。

- ▼Facebook：フォロワー 377 人
 - (前期：フォロワー 令和 6 年 9 月末 353 人)
- ▼YouTube：登録者数 115 人 (前期：令和 6 年 9 月末 91 人)

イ 情報紙の発行（年 6 回／隔月発行）

【ひらつかの風（情報紙）発行】

別紙「ひらつかの風第 44、45、46 号」のとおり。

| | |
|--------|------------|
| 第 44 号 | 5 月 15 日発行 |
| 第 45 号 | 7 月 15 日発行 |
| 第 46 号 | 9 月 15 日発行 |

ウ ボランティア情報紙の発行（年 1 回）

【ひらつかの空（ボランティア情報紙）発行】

| | |
|-----------|-------------------------|
| 実施内容 | 実施日 |
| 掲載団体募集 | 5 月 15 日(木)～7 月 20 日(日) |
| *先着 35 団体 | *19 団体確定 |
| 発行予定 | 11 月中旬 |

(3) 市民活動に関する調査及び研究を行うこと。

ア センターを利用するものへのアンケート調査（結果の分析を含む）（年1回）

- ・第5回防災座談会開催(9/20)に向けて、昨年度実施したアンケート結果で災害時に協力できると回答した68団体に向けて、再度内容についての確認を行ったところ、58団体が具体的な支援内容を提案いただいた。（防災座談会へ反映）
- ・年度末に向けてアンケート調査を実施する予定。

(4) 市民活動に関する相談を行うこと。

ア 市民等からの次の相談を行い、相談記録を作成すること。

【相談記録】 別紙のとおり

【相談件数】

| | |
|---------|-------------|
| 相談件数 | 226 件 |
| (内専門相談) | 150 件/226 件 |

【相談内訳】

| 一般相談 | | | | |
|------------------------|-------|-------|------|--|
| 項目 | 令和7年度 | 令和6年度 | 前年度差 | |
| ボランティア関連 | 11 | 8 | +3 | |
| 市民活動団体を知りたい | 14 | 7 | +7 | |
| センター登録関係 | 5 | 3 | +2 | |
| 団体を作りたい | 1 | 1 | +0 | |
| NPO 法人を設立したい | 1 | 1 | +0 | |
| 助成金に関する相談 | 2 | 1 | +1 | |
| 組織運営に関する相談(運営・会計・広報・他) | 2 | 1 | +1 | |
| 協働に関する相談 | 1 | 0 | +1 | |
| その他 | 13 | 11 | +2 | |
| 団体登録に関する相談 | 21 | 23 | ▲2 | |
| フォロー | 5 | 3 | +2 | |
| 合計 | 76 | 59 | +17 | |

【専門相談】

| 専門相談 | | | |
|-----------|-------|-------|------|
| 項目 | 令和7年度 | 令和6年度 | 前年度差 |
| 資金調達 | 1 | 4 | ▲ 3 |
| 組織運営 | 6 | 5 | +1 |
| 情報・広報 | 2 | 4 | ▲ 2 |
| 法人設立 | 3 | 6 | ▲ 3 |
| 会計・税務 | 5 | 7 | ▲ 2 |
| 連携・協働 | 5 | 6 | ▲ 1 |
| その他 | 30 | 18 | +12 |
| フォロー | 22 | 9 | +13 |
| 合計 | 74 | 59 | +15 |
| 一般相談+専門相談 | 150 | 118 | +32 |

(5) 市民活動に関する学習の機会及び市民活動を行うものの相互交流の機会を提供すること。

ア 市民等向け講座の実施（年7回）

【市民向け講座 3回実施】

| 講座名・講師等 | 実施日 | 参加者数 |
|--|-------------------------|--|
| 何かやりたい人の掘り起こしつながりの場1 「どまのまど～皐月の会～」 登壇者：柳 祐輔 さん (ニュードコットン) | 5月27日(火) 18:00～19:00 | 参加者 11名（他課市職員 2名含）、登壇者 1名、センタースタッフ 3名 合計：15名 |
| 何かやりたい人の掘り起こしつながりの場2 「どまのまど～文月の会～」 登壇者：杉山 勇人 さん (伊勢兼商店) | 7月29日(火) 18:00～19:30 | 参加者 12名、登壇者 1名、センタースタッフ 5名 合計：18名 |
| 何かやりたい人の掘り起こしつながりの場3 「どまのまど～長月の会～」 ・登壇者 池田 一彦 さん (ちがさきこども選挙発起人) | 9月29日(月) 18:00～19:30 | 参加者 11名（他課市職員 2名含む）、登壇者 1名、センタースタッフ 5名 合計：17名 |

イ センターを利用するもの同士の交流会の実施（年1回）

| 講座名・講師等 | 実施日 | 参加者数 |
|---|-------------------------|--|
| 第3回支援者間交流会 講師：NPO法人 親がめ 理事長 塚原 泉 氏 (平塚市社会福祉協議会と共催) | 7月10日(木) 14:00～16:30 | 参加者 35名 (他課市職員 8名含)、講師 1名、平塚市社会福祉協議会 2名、センタースタッフ 3名 合計：41名 |
| 第5回防災座談会 講師：平塚市災害対策課 大平 啓太 氏 | 9月20日(土) 14:00～16:30 | 参加者 26名 (登録団体:16団体 22名、関係団体:3団体 4名 (他課市職員 1名含)、講師 1名、取材 3名、センタースタッフ 4名 合計：34名 |

ウ 市民活動の普及のためのイベントの実施（年1回→2回）

【ひらつか市民活動センターまつりの進捗状況】

| 実施内容 | 実施日 | 参加者数 | 決定事項 |
|----------|-------------------------|--|---|
| 実行委員会発足 | 6月13日(金) | 13団体・13名 | |
| 第1回実行委員会 | 6月13日(金) 18:00～19:30 | 12団体 12名 学生(情報発信)1名 協働推進課 2名 事務局 6名 合計 21名 | ・実行委員長、副実行委員長の選任 ・開催日時、参加団体数、委員会日程の確認 |
| 第2回実行委員会 | 7月11日(金) 18:00～19:30 | 12団体 12名 学生(情報発信)1名 協働推進課 3名 事務局 5名 合計 21名 | ・出展団体募集状況 ・実行委員会企画検討 ・市民活動推進月間企画の確認 ・寄附募集 ・広報スケジュール |
| 第3回実行委員会 | 8月8日(金) 18:00～19:30 | 13団体 13名 学生(情報発信)1名 協働推進課 3名 事務局 6名 合計 23名 | ・参加団体確定(52団体) ・会場レイアウト案 ・実行委員会企画確認 ・実行委員会協力企画(11月市民活動推進月間企画)確認 |

| | | | |
|----------|-------------------------|--|---|
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・寄付募集 ・広報スケジュール |
| 第4回実行委員会 | 9月12日(金) 18:00~19:30 | 10団体10名 学生(情報発信)1名 協働推進課2名 事務局6名 合計19名 | <ul style="list-style-type: none"> ・会場レイアウト確認 ・パフォーマンススケジュール確認 ・缶バッジ作成日程 ・各企画確認 |

【ひらつか市民活動センターまつりの実施】(予定)

| 実施日 | 参加者数 | 実施内容 |
|--------------------------|------|-----------|
| 11月23日(日) 10:00~15:00 | | 52団体が出展予定 |

エ 特定非営利活動法人の会計・税務相談会の実施(年1回)

【会計・税務相談会 1回実施】

| 講座名・講師等 | 実施日 | 参加者数 |
|----------------------|--------------|------|
| 会計・税務相談会 徳永、小原税理士 | 12月~1月にかけて予定 | |

(6) 市民活動に係る人材の育成を行うこと。

ア 若者のボランティア参加を促進する事業の実施(年1回)

【こどもわくわくフェスタ2025】

市民活動・地域活動への新たな担い手育成と市民活動団体のノウハウや専門性のPRを目的として「第3回こどもわくわくフェスタ」を実施した。3回目とあって地域に定着しつつあり、子どもはもとより保護者のボランティア活動や市民活動に対する関心度も高く、新たな市民活動への参画も期待できる。

*崇善公民館との共催事業

| 実施日 | 参加者数 | 実施内容 |
|--------------------------------------|--|---|
| 7月26日(土) 10:00~14:30 (崇善公民館共催) | 延べ1,634名 (一般: 延べ1,543名 /団体: 延べ91名) 出展団体: 15団体 *対象: 崇善・松原地区 の小学生及び就学前の 弟妹、地区外の子ども、 保護者 | 4月25日(金) 18:00~19:00 参加団体説明会 8団体 7月25日(金) 15:00~17:00 前日準備 7月26日(土) 8:45~16:00 崇善公民館・ひらつか市民活動センター 施設全体を活用して開催 |

イ 市民の市民活動参加を促進する事業の実施（年1回）

【市民の市民活動参加を促進する事業 1回実施】

*下期に予定

(7) その他市民活動の推進に関すること。

ア 市との情報共有（センター運営状況の報告等）（毎月1回）

- ・情報共有は開館時随時実施
- ・ひらつかの風（市民活動情報紙編集会議：隔月）
- ・センターまつり実行委員会（6月～12月／月1回）
- ・市と湘南NPOサポートセンター理事会との情報共有・交換（四半期毎に実施）

議題はセンター運営の他、市民活動支援・協働の推進など重要項目について協議した。

【スタッフ内部ミーティングの実施 6回】別紙「スタッフミーティング議事録」とおり。

| | |
|----|---------|
| 4月 | 4月7日(月) |
| 5月 | 5月7日(水) |
| 6月 | 6月6日(金) |
| 7月 | 7月9日(水) |
| 8月 | 8月7日(木) |
| 9月 | 9月5日(金) |

イ 【市との会議（センター運営に関する法人理事会との打合せ）】

| | |
|-----|----------|
| 第1回 | 6月6日(金) |
| 第2回 | 9月16日(火) |

ウ センターの清潔さの維持のための最低限の清掃

【随時実施】

エ その他、市が参加を必要とした関係機関等のイベントなどへの参加（1～3回を想定）

① 【4月27日(日) 平塚市緑化まつり出展 場所：平塚市総合公園(南側はらっぱ)】

| 実施日 | 参加者数 | 実施内容 |
|------------------------|--|--|
| 4月27日(日) 9:00～15:00 | ・来場者数：594名 <内訳> ・釣りゲーム：390名（バッジ 195個配布、来場者数算出方法 | ・市民活動センター出張ブース (市民活動/ボランティアに関する 相談) ・たすけ愛文庫 |

| | | |
|--|-------------------------------|-------------------|
| | 195×2=390 人) ・たすけ愛文庫：204 冊 | ・釣りゲーム(崇善公民館より借用) |
|--|-------------------------------|-------------------|

② 予定【10月11日(土) TOKAI グローカルフェスタ出展：東海大学湘南校舎】

| 実施日 | 参加者数 | 実施内容 |
|--------------------------|------|------|
| 10月11日 (土) 9:30～15:30 | | |

2 業務内容を履行するための要件に対する対応

(1) 常時2名をセンターに配置すること。

- ・常時2名をセンターに配置し、業務内容に応じ増員をした
- ・湘南ひらつか七夕まつり開催に伴い、令和7年7月2日(水)午前9時から7月7日(月)17時までの期間を休館とした。

(2) ひらつか市民活動センターのホームページを管理・運営すること。

- ・適切にひらつか市民活動センターのホームページを管理・運営した。
- ・市民活動団体情報ファイルを団体自身が編集できるよう引き続きサポートを行っている。

(3) センターは、平塚市立崇善公民館との複合施設であるため、同館との連携・調整をすること。

【相互利用実績】

| 崇善公民館 → センター | | 上期 |
|--------------|-------|-----|
| 団体数 | 令和7年度 | 35 |
| | 令和6年度 | 18 |
| 利用者数 | 令和7年度 | 375 |
| | 令和6年度 | 332 |

| センター → 崇善公民館 | | 上期 |
|--------------|-------|-----|
| 団体数 | 令和7年度 | 76 |
| | 令和6年度 | 76 |
| 利用者数 | 令和7年度 | 555 |
| | 令和6年度 | 608 |

(4) 必要に応じて関係機関や専門家等との連携・調整をすること。

※関係機関とは、公共団体、教育機関、他センター、社会福祉協議会、法人などをいう。

【関係機関や専門家との連携実績】

| 関係機関名・専門家 | 実施日 | 連携・調整内容 |
|---|--|---|
| 神奈川県「NPO の組織基盤強化のための伴走支援事業」 主催:一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 名称:かながわ NPO 伴走応援プログラム | 5月 21 日(水)14:00~15:00 事業説明会 6月 9 日(月)13:00~16:00 サポートー研修 7月 3 日(木)13:30~15:30 サポートー研修 8月 6 日(水)13:00~16:30 全体顔合わせ会 9月 6 日(土)14:00~16:15 伴走団体顔合わせ会 9月 12 日(金)11:00~11:40 サポートー個別会議 | 組織の継続・基盤強化に取り組む意欲のある神奈川県内のNPO 法人を対象にした伴走応援プログラム。(令和 7 年度はエントリー20 団体) *契約:湘南 NPO サポートセンター |
| 神奈川県「NPO・企業・大学とのパートナーシップミーティング事業」 | 実施日:令和 8 年 1 月 21 日 14:00~17:00 予定 事前打ち合わせ: 5月 16 日(金)10:00~12:00 7月 15 日(火)14:00~15:00 | 神奈川県・平塚市・大磯町・二宮町との連携によって協働開催する。 *契約:湘南 NPO サポートセンター |
| 平塚市社会福祉協議会との連携 | ボランティア情報、活動団体の情報提供、防災連携(*1)、重層的支援体制整備事業(*2)、等適宜情報交換を行った。 (*1)防災座談会 (*2)支援者間交流会 | |
| 包括支援センターゆりのきとの連携 | 地域福祉に関する情報の共有、相談内容(個人情報は省く)の共有など、適宜情報交換を行った。 | |
| 崇善公民館、崇善地区自治会連合会との連携 | 崇善公民館との連携による会議室の相互利用、事業の共同開催、協力。崇自連との情報交換、地域課題の共有適宜 *崇善地区社会福祉協議会より、地域活動の高齢化・担い手不足に向けた講演依頼あり (11/22) | |
| 神奈川県内の支援センターとの連携 | 神奈川県主催の CEO ミーティングの他、各支援センター間で必要に応じて情報交換を実施した。 ・令和 7 年度神奈川県 CEO ミーティング: 2 名参加 9月 9 日(火) 14:00~17:00 | |

3 事業総括

【自由記述】

(1) センター登録団体の概況

令和7年9月末日時点での登録数は、市民活動団体330団体、一般125団体、合計455団体となっている。

前年度末との比較で 市民活動団体が+4、一般団体が+3、全体で+7団体の増となった。

市民活動団体の活動分野の構成比は 保険、医療及び福祉の増進が85(25.8%)、次いで学術、文化、芸術またはスポーツの振興が54(16.4%)、子供の健全育成51(15.5%)となっている

(2) 委託契約書による事業の進捗状況

契約書の内容に従い、市民向け講座など各事業、定期刊行物発行、協働推進課との定期的な情報共有等々、上期は遅滞なく履行できた。

(3) 人材育成（スタッフ研修）

① センター主催講座及び事業への参加

こどもわくわくフェスタ、支援者間交流会、防災座談会等、どまのまど、等。

団体と共に参加し学ぶことで団体の現状把握、相談力向上に努めた。

② 湘南NPOサポートセンターとして県の委託事業（かながわNPO伴走応援プログラムへの参画（2年目）、神奈川県NPO・企業・大学パートナーシップミーティング参画（3年目））を受託。NPOの伴走支援を実践することで、中間支援組織の職員としての学びを深めている。

③ 団体活動の現場訪問。情報紙「ひらつかの風」では、取材した団体の情報をまとめ掲載している。活動の現場に出向くことで、活動の様子を直接知ることができ、団体との距離感が縮まる。読み手にわかりやすい文章を書くことはスタッフにとっても大きな学びになる。

④ スタッフミーティングにて、①基本的なICTを学ぶ研修（4月）、②連携・協力の仕組みを学ぶ研修（9月）を実施した。

(4) NPO/市民活動団体支援の現状から

① 本年7月15日以降、登録団体に向けて活動状況のわかる年次報告書等の提出を依頼中。

取りまとめの最中ではあるが、現段階では各団体の活動資金がかなり枯渇しており、残余財産を少しづつ切り崩しながら活動している状況である。かといって助成金を獲得する・クラウドファンディングに挑戦する、というような動きも見えず、資金がなくなるまでは活動が続けられるといった消極的な様子であることがわかる。これらは特に活動歴も長く、高齢の団体が多くを占めている。

一方で、20年以上の長きにわたりNPO法人格を取得して活動してきた団体の解散、登録

抹消が目立つようになってきた。

*参考：令和7年4月以降 解散NPO法人2件

センター登録抹消件数：8件（市民活動団体7件、一般団体1件）

主な理由は、団体の高齢化・事業継承ができない・役員の担い手不足が挙げられる。次世代継承が上手くいっていないことがその背景にある。これは全国的な流れでもあるが、人材育成・発掘は急にできることではないので、日々の活動の中で如何にアンテナを持ち広げていくか、ということと事業のモデルチェンジという発想を持つということ、これらも今後の活動支援に必要である。

② 平塚市社会福祉協議会との共催で実施している「支援者間交流会」は、7月に第3回目を開催。市内の支援機関・NPO/市民活動団体及び各担当課の職員の皆さんも参加していただき、意見交換や交流を行いました。横の連携が深まることで多様な問題の解決につながる、糸口が掴めそうとの声をいただき、今後も定期的に開催したい。

また、防災座談会では参加団体から

- ・災害の際、様々なお困りごとが出るので、ボランティアセンターで調整して、市民活動センターで協力を依頼して住民ニーズと各団体の協力を繋げていきたい。
 - ・「災害時の対応ができること」のアンケート結果がまとまったので、それを活かした情報共有と連携がスムーズに進められることを願っている。
- 等の意見をいただいた。分野を越えた団体間の連携を進め、災害時に協力できる体制づくりが求められていると実感した。

③ 今年度より新規事業として開始した「どまのまど」では、これから何かを始めたい、仲間づくりがしたい、活動のヒントが欲しいといった方々の参加の場として開催している。既に3回実施したが、毎回参加してくれる方や、ヒントをもらえた、楽しかったという声が多く、参加者の年齢も40代を中心とした方々が集まっている。定期開催する中で新たな人財の発掘につなげたい。

以上